

第66回全日本吹奏楽コンクール四国大会 講評

審査員	課題曲			自由曲		
	技術	表現	講評	技術	表現	講評
芦田 修次 (Cl)	10	10	軽快なマーチになったと思います。イントロの発音と金管のバランスの組み立てをもっと良くしたい。(セクション内の) Tutti時の低音(Bass)の豊かなサウンドで存在感を!曲の流れは良かったと思います。	10	10	曲のおもしろ味が発揮された演奏だったと思います。また、センスの良さも伝わりました。セクション・パート内のバランスを整理したい所が少しありました。良くまとまり好演でした。
有村 純親 (Sax)	8	9	柔らかいサウンド、自然な歌い回しとてもいいですね。金管楽器の発音がもう少しはっきりするといいですね。	8	8	もう少しダンスキャラクターが出るといいですね。弱拍から強拍への音の方向性を意識するとうまくいきますよ。 欲を言うと、伸ばしの音程ががちり決まると音が響きとして飛んでくると思います。
上原 宏 (Hr)	10	9	とてもSymphonicなSoundで良かったです。リラックスして吹いている感じがとても良いです。バランスもとても配慮されていて大人の演奏でした。	10	9	とてもまとまりがありますね。伴奏のハーモニーをもっと合わせると良いと思います(特に弱奏遅い部分のW.W) パート内の音のスピード. 1st⇔3rdをもっと合わせると一体感が増してくると思います。
高 昌帥 (作曲)	9	10	「ターッタ」の16分音符、クッキリと発音しましょう。全体的に中音域にピッチと濁りを感じます。 Trio. もう少し積極的に歌っても良かったかと。	9	10	冒頭バランスどりに難しかったと思います。ハイ、スママセン。でも上手くいってました。 う～ん、あそこのTimp. ああしますか～ 2声のうねり声、もっとうねっても良かったかと ラストのシャドン、お見事、決まりました。
坂上 弘志 (Per)	7	7	・出だしのサウンド、しっかりと(Br) ・D5小節目～のWWのピッチ、統一を ・I前のrit、指示通り2小節前から	8	8	・Sax solo後のWWのサウンドしっかりと ・3拍子1拍取りのバッセージ、クリアーに(Trb他) ・f、ffのサウンドでの木・金・打のバランス感を
田淵 哲也 (Ob)	8	8	スケールの大きな音楽で前進力がありとても素晴らしい演奏です、メリハリの効いた演奏でとても良いと思います。少し走っているように聴こえてしまいました。DのTrb. Eup. 低音、もう少し大きく、歯切れよいと良いと思います。	8	9	曲の雰囲気をつえた素敵な音楽です。表現豊かな伸びのあるサウンドとても良いと思います。エンディングに向かう統一感、迫力がありませんでした。バランス、ハーモニーの乱れ気になるところがありました。
山本 訓久 (指揮者)	9	9	第2マーチのTrbはmarcatoで演奏しましょう。 Trioのスピード感とても良いと思います。 全体に「大人の雰囲気」出せていたと思います。	9	9	次々に表れる(現れる)soloのどれを取っても大変立派で、皆さんのキャリアを感じます。それをサポートするバンドも絶妙なバランスと音楽で支え切っています。 倍管以上の数になっている金管セクションのバランスも本当に素晴らしいです。「ウルサイ」音は全くありませんでした。フラボー!!